

# 衝撃吸収フロアー クラウドステージ 商品説明・Webハウズ操作マニュアル

---

2025年 1月 8日

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社

## ■ 商品説明編

- ①商品基本仕様 … P 4
- ②施工概要 … P 5
- ③見積具体例 … P 6

## ■ Webハウズ操作説明編

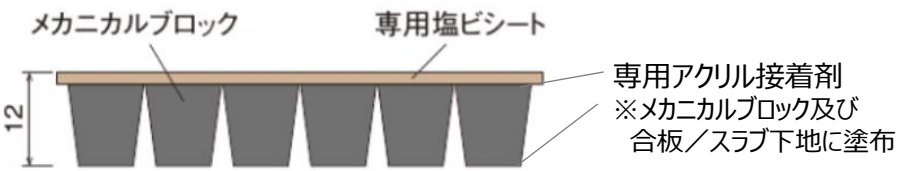
- ①積算における従来床材との相違点
  - 1.従来床材と衝撃吸収フロアーの考え方の違い … P 8
  - 2.従来床材と衝撃吸収フロアーの積算方法の違い … P 9
- ②全体操作フロー
  - 1.画面構成 … P 10 ~ P 11
  - 2.選定項目内容 … P 12
  - 3.部屋設定の有無による考え方の違い … P 13
  - 4.部屋設定ありの場合 … P 14 ~ P15
  - 5.部屋設定なしの場合 … P 16
  - 6.オプション入力方法 … P 17
  - 7.長さ入力 … P 18
- ③選定時の注意点
  - 1.部屋設定時の形状について … P 19
  - 2.センター基準・片側基準のシート割付について … P 20 ~ P 23
  - 3.特殊な算出ルール：シートの算出方法について … P 24 ~ P 26
  - 4.下限・上限値について … P 27
  - 5.提案ボードへの表現 … P 28

## ■ 商品説明編

# ①商品基本仕様

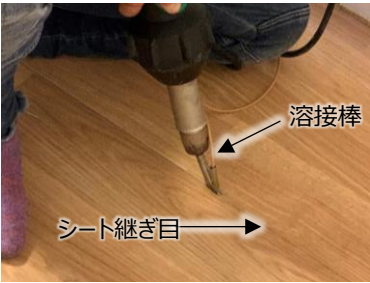
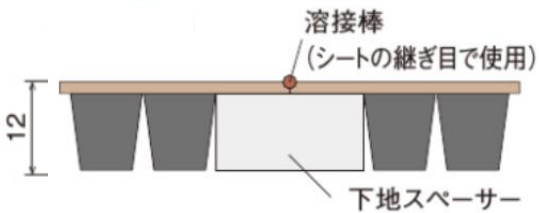
## ■基本構造

専用塩ビシートとメカニカルブロックの2層。



## ※シート継目部分

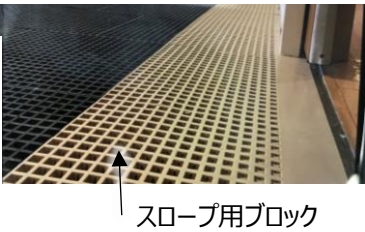
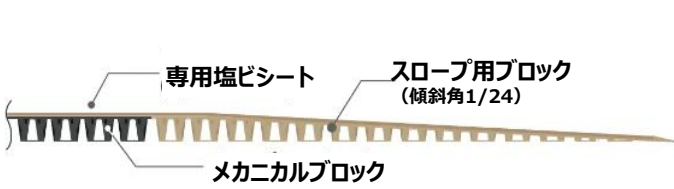
シート同士は溶接棒で溶接。下地はスペーサーを設置。



## ※スロープ部分

オプション

メカニカルブロックと既存床との段差解消のため、スロープ部材をオプションで用意。



## ■部材一覧

	部材	品番	入数	サイズ
必要部材	専用塩ビシート(3柄)	KGFTVS91□	1巻	1820×9000mm/巻 t2
	メカニカルブロック	KGFTMB18	18枚 (1.62㎡)	300×300mm t10
	専用アクリル接着剤	KGFTGE15	1個 (約33㎡分)	15kg
必要部材 ※継目がある場合	下地スペーサー	KGFTUS05	5枚 (5000mm分)	60×1000mm t10
	溶接棒(3色)	KGFTYB50□	1巻	50m/巻 Φ3.5
オプション部材	スロープ用ブロック	KGFTSB04	4枚	300×300mm t10

※品番の□には色記号が入ります。  
DL:ブラウンウォールナット柄 ML:ナチュラルオーク柄 LL:グレージュウォールナット柄

## ②施工概要

5/28

### ■施工の流れ



① 下地材へ接着剤塗布



② メカニカルブロック  
貼り付け



③ メカニカルブロックへ  
接着剤塗布



④ 専用塩ビシート  
貼り付け



⑤ 溶接棒で接合

### ■施工対象下地

コンクリート直貼

捨貼り合板

※既存床材への上貼りは不可です

### ■施工説明書/施工動画



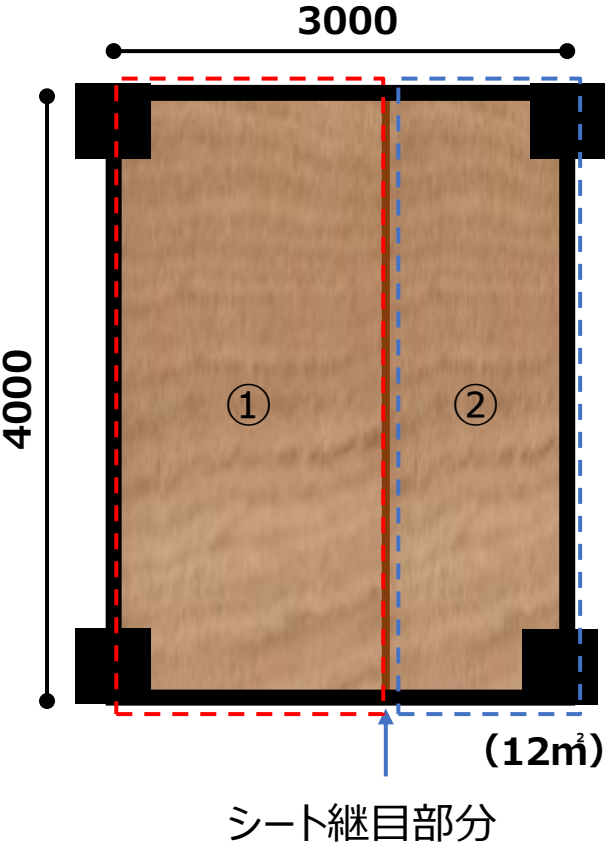
施工説明書



施工動画

③見積具体例

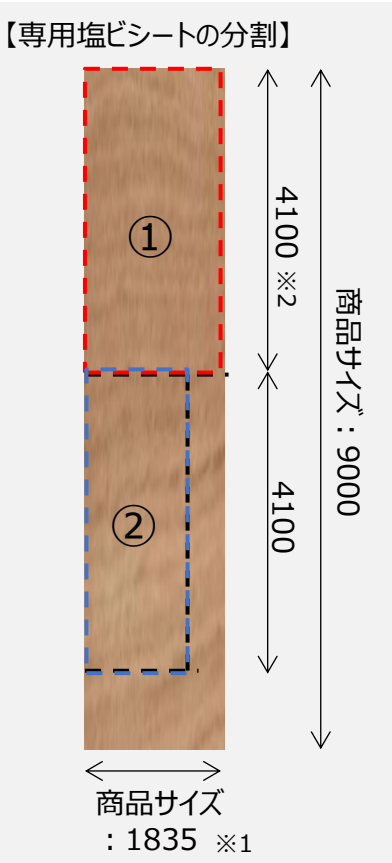
■ 3000×4000、12㎡の部屋の算出数量  
(シート：垂直貼り・片側基準の場合)



	入数	サイズ	算出数量
専用塩ビシート	1巻	1820×9000mm/巻 t2	1
メカニカルブロック	18枚 (1.62㎡)	300×300mm t10	8
専用アクリル接着剤	1個 (15kg・約33㎡分)	—	1
下地スペーサー	5枚 (5000mm)	60×1000mm t10	1
溶接棒	1巻	50m/巻 Φ3.5	1

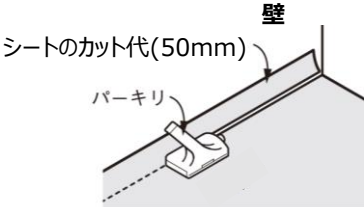
■ 算出数量の考え方

- 専用塩ビシート：  
1枚を分割する(右図) ➡ **1枚**
- メカニカルブロック：  
 $12\text{㎡} \div 1.62\text{㎡} = 7.4$  ➡ **8ケース**
- 専用アクリル接着剤：  
塗布面積12㎡ ➡ **1個**
- 下地スペーサー：  
継目長さ4m設置 ➡ **1セット**
- 溶接棒：  
継目長さ4m設置 ➡ **1個**



※1 商品の製造過程で約15mmの余剰分があるため、ハウズのシステム上は、幅1835mmとして算出します。

※2 壁際のシートは、カット代(50mm)を設けるため、部屋寸法より長いシート寸法にて算出します。



## ■ Webハウズ操作説明編

## ①積算方法における従来床材との相違点

8/28

### 1.従来床材の考え方と衝撃吸収フロアの考え方の違い

衝撃吸収フロアは、従来の木質床材と算出の考え方が異なります。

自動算出される部材・算出方法・ロス率の観点では下表のようになります。

	従来床材	衝撃吸収フロア (クラウドステージ)
自動算出部材	①木質床材 ②接着剤（任意） ③オプション部材（任意、見切り等）	①塩ビシート ②メカニカルブロック ③専用アクリル接着剤 ④下地スペーサー（手動切替可） ⑤溶接棒（手動切替可） ⑥スロープ用ブロック（手動入力）
算出方法	面積にて算出 or ケース数にて算出	● <u>部屋の1辺ごとの長さにより算出</u> ①塩ビシート/④下地スペーサー/⑤溶接棒 ● 面積にて算出 ②メカニカルブロック/③専用アクリル
ロス率の考え方	10%（デフォルト）※任意変更可	0% <u>※任意変更不可</u>

## ①積算方法における従来床材との相違点

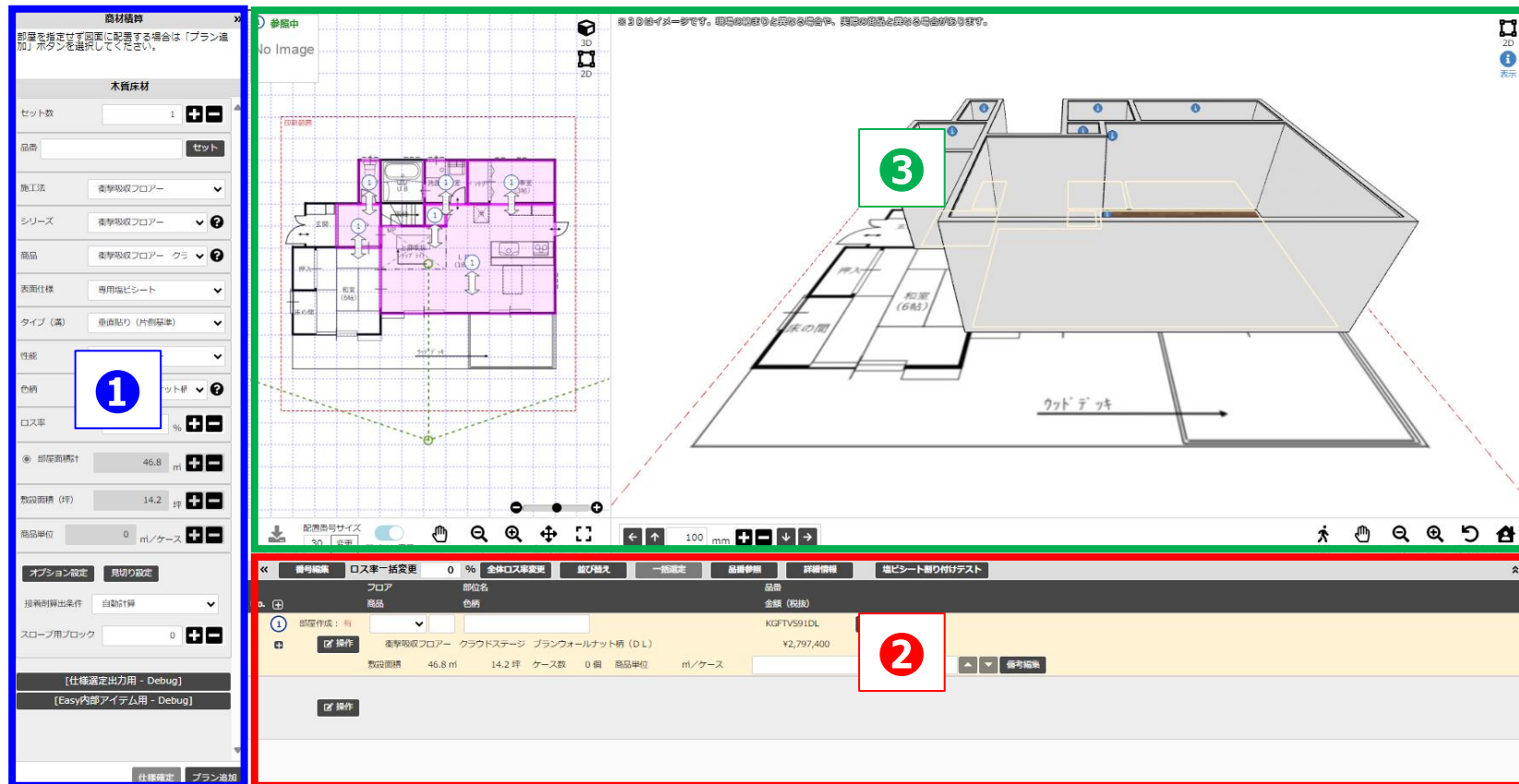
9/28

### 2.従来床材と衝撃吸収フロアの積算方法の違い

従来床材と衝撃吸収フロアでは積算方法が下図の通り異なります。（※詳細フローはP14～P15参照）

	従来床材	衝撃吸収フロア （クラウドステージ）
施工法	<ul style="list-style-type: none"><li>・一般住宅用</li><li>・マンション用</li><li>・公共・商業施設用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・衝撃吸収フロア（クラウドステージ）</li></ul>
タイプ（溝）	<ul style="list-style-type: none"><li>・なし</li><li>・1本溝</li><li>・2本溝</li></ul> ※商品により異なる	<ul style="list-style-type: none"><li>・垂直貼り（片側基準）</li><li>・垂直貼り（センター基準）</li><li>・水平貼り（片側基準）</li><li>・水平貼り（センター基準）</li></ul>
接着剤算出条件	<ul style="list-style-type: none"><li>・未選択</li><li>・おすすめ（ウレタン）</li><li>・おすすめ（シリコン）</li><li>・不要</li><li>・手入力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自動計算 （下地スペーサー・溶接棒を自動選定）</li><li>・手入力 （下地スペーサー・溶接棒を任意数値入力）</li></ul>
明細エリア	部屋設定有無にかかわらず変化なし	部屋設定なしの場合、部屋サイズ入力が必要

### 1.画面構成（部屋設定あり）



### 1.画面構成（部屋設定なし）

The screenshot displays a software interface for material selection and detail management. On the left, a sidebar contains various settings for '木質床材' (Wooden Floor Material), including 'セット数' (Set Count), '品番' (Part Number), '施工法' (Construction Method), 'シリーズ' (Series), '商品' (Product), '表面仕様' (Surface Specification), 'タイプ' (Type), '性能' (Performance), '色柄' (Color/Pattern), 'ロス率' (Loss Rate), '部屋面積' (Room Area), '敷設面積' (Laying Area), '商品単位' (Product Unit), and 'オプション設定' (Option Settings). A blue box labeled '1' highlights the '表面仕様' (Surface Specification) dropdown menu. The main area is divided into two sections. The top section, labeled '仕様選定エリア' (Specification Selection Area), shows a table with columns for 'フロア' (Floor), '部位名' (Part Name), and '品番' (Part Number). It includes a '部屋追加' (Add Room) button and a '品番参照' (Reference Part Number) button. The bottom section, labeled '明細一覧エリア' (Detail List Area), displays a table with columns for 'No.', 'フロア', '部位名', '品番', and '金額' (Amount). It includes a '部屋追加' (Add Room) button and a '品番参照' (Reference Part Number) button. A red box labeled '2' highlights the '明細一覧エリア' (Detail List Area).

①：仕様選定エリア  
詳細の仕様を選択します。

②：明細一覧エリア  
選定した明細が表示されます。

## 2.選定項目内容

商材検索 >>

部屋を指定せず図面に配置する場合は「プラン追加」ボタンを選択してください。

木質床材

セット数  **+** **-**

品番  **セット**

施工法

シリーズ  ?

商品  ?

表面仕様

タイプ(溝)

性能

色柄  ?

ロス率  % **+** **-**

◎ 部屋面積計  m<sup>2</sup> **+** **-**

敷設面積(坪)  坪 **+** **-**

商品単位  m<sup>2</sup>/ケース **+** **-**

**オプション設定** **見切り設定**

接着剤算出条件

スロープ用ブロック  **+** **-**

[仕様選定出力用 - Debug]

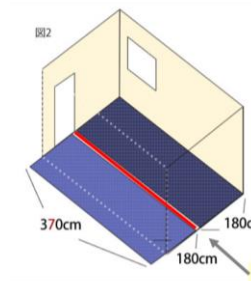


項目	選定内容
品番	※衝撃吸収フロアーでは使用不可
施工法	衝撃吸収フロアー
シリーズ	衝撃吸収フロアー
商品	衝撃吸収フロアー クラウドステージ
表面仕様	専用塩ビシート
タイプ(溝)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂直貼り(片側基準)</li> <li>・垂直貼り(センター基準)</li> <li>・水平貼り(片側基準)</li> <li>・水平貼り(センター基準)</li> </ul> <b>任意選択</b>
性能	衝撃吸収フロアー
色柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラウンウォールナット柄</li> <li>・ナチュラルオーク柄</li> <li>・グレイージュウォールナット柄</li> </ul> <b>任意選択</b>
ロス率	0% (変更不可)
部屋面積計	間取り図あり：自動計算 ※詳細9P 間取り図なし：任意入力 ※詳細15P
接着剤条件算出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動計算</li> <li>・手入力</li> </ul> <b>任意選択</b>
オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下地スペーサー ※手入力の場合のみ</li> <li>・溶接棒 ※手入力の場合のみ</li> <li>・スロープ用ブロック</li> </ul>

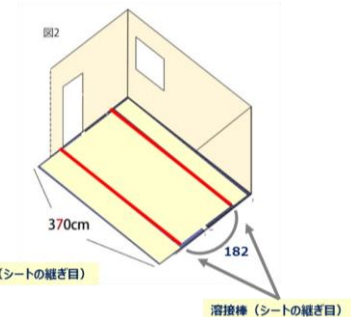
補足：「タイプ(溝)」の選定内容



片側基準



センター基準



### 3.部屋設定の有無による考え方の違い

間取り図積算においての部屋設定の有無により、衝撃吸収フローアは下表のとおり考え方が異なります。

算出部材	算出方法	
	部屋設定あり	部屋設定なし
①塩ビシート	部屋ごとに算出	総面積入力後、各部位の長さを 入力することで算出
②メカニカルブロック	部位の総面積から算出	
③専用アクリル接着剤		
④下地スパーサー	部屋の中で算出される シートの継ぎ目の長さ分を算出 ※手動切替可	総面積入力後、各部位の長さを 入力することで算出 ※手動切替可
⑤溶接棒		
⑥スロープ用ブロック	手動入力のみ	

## ②全体フロー

14/28

### 4.部屋設定あり

① 参照中

No Image

②

③

④

⑤

⑥

一括選定

※3Dはイメージです。現場の状況と異なる場合や、実際の商品と異なる場合があります。

仕様が変更されています。  
更新ボタンを押してください。

更新

内覧 スクロール 縮小 拡大 初期視点 部屋設定

① 施工法で「衝撃吸収フローア」を選ぶ

② タイプ（溝）で貼り方向と貼り基準を選ぶ

③ 色柄を選ぶ

④ 接着剤算出条件で「自動計算」を選ぶ  
→「手入力」を選ぶ場合は15P

⑤ 「仕様確定」を押下

⑥ 明細エリアの「一括選定」を押下

商材積算

部屋を指定せず図面に配置する場合は「プラン追加」ボタンを選択してください。

木質床材

セット数 1

品番

施工法 衝撃吸収フローア

シリーズ 衝撃吸収フローア

商品 衝撃吸収フローア クラ

表面仕様 専用端ビシート

タイプ（溝） 垂直貼り（片側基準）

性能 衝撃吸収フローア

色柄 ブランウォールナット

ロス率 0 %

部屋面積計 46.8 m

敷設面積（坪） 14.2 坪

商品単位 0 m/ケース

オプション設定 見切り設定

接着剤算出条件 自動計算

スロープ用ブロック 0

仕様確定 プラン追加

## ②全体フロー

15/28

### 4.部屋設定あり

商材積算

部屋を指定せず図面に配置する場合は「プラン追加」ボタンを選択してください。

木質床材

セット数 1

品番

施工法 衝撃吸収フローアー

シリーズ 衝撃吸収フローアー

商品 衝撃吸収フローアー クラ

表面仕様 専用塩ビシート

タイプ(溝) 垂直貼り(片側基準)

性能 衝撃吸収フローアー

色柄 ブラウンウォールナット

ロス率 0%

部屋面積計 46.8 m<sup>2</sup>

敷設面積(坪) 14.2 坪

商品単位 0 m<sup>2</sup>/ケース

オプション設定 見切り設定

接着剤算出条件 手入力

下地スパーサー 7

※数量1: 5枚入り(1枚長さ1000mm)

溶接棒 1

※数量1: 1巻(50m)

スロープ用ブロック 0

① 変更中

仕様選定中

仕様確定を  
してください

3D

2D

図面最新化

配置番号サイズ 30 変更

アイコン表示

スクロール

縮小

拡大

全体表示

範囲拡大

100 mm

内観

スクロール

縮小

拡大

初期視点

部屋設定

番号編集

ロス率一括変更 0 %

全体ロス率変更

並び替え

一括選定

品番参照

詳細情報

塩ビシート貼り付けテスト

フロア

部位名

品番

No. (+)

商品

色柄

金額(税抜)

① 部屋作成: 有

KGFTVS91ML

品番参照

1

操作

衝撃吸収フロア クラウドステージ ナチュラルオーク柄 (ML)

¥1,051,400

敷設面積 49 m<sup>2</sup>

14.8 坪

ケース数 0 個

商品単位 m<sup>2</sup>/ケース

備考編集

操作

※3Dはイメージです。現場の境目と異なる場合や、実際の商品と異なる場合があります。

仕様が変更されています。  
更新ボタンを押してください。

更新

接着剤算出条件で「手入力」を選んだ場合、オプション項目に「下地スパーサー」と「溶接棒」が表示されます。任意の数値を入力し、「仕様確定」を押下してください。(自動算出の場合は部屋長さから自動で算出されます)

### 5.部屋設定なし

The screenshot shows a software interface for room setting. On the left is a sidebar with various settings, and on the right is a main area with a table and buttons. Numbered callouts indicate the following steps:

1. Select "衝撃吸収フローアー" (Impact Absorption Floor) in the "施工法" (Construction Method) dropdown.
2. Select "垂直貼り (片側基準)" (Vertical Paste (One-side Reference)) in the "タイプ (溝)" (Type (Groove)) dropdown.
3. Select "ブランウォールナット柄" (Blanc Walnut Pattern) in the "色柄" (Color/Pattern) dropdown.
4. Input "50 m<sup>2</sup>" in the "部屋面積計" (Room Area) field.
5. Select "自動計算" (Automatic Calculation) in the "接着剤算出条件" (Adhesive Calculation Condition) dropdown.
6. Press the "仕様確定" (Specification Confirmation) button.
7. Press the "プラン追加" (Add Plan) button.
8. Input room dimensions (7071 mm x 7071 mm) in the "明細エリア" (Detail Area).
9. Press the "一括選定" (Batch Selection) button in the table area.

- ①施工法で「衝撃吸収フローアー」を選ぶ
- ②タイプ（溝）で貼り方向と貼り基準を選ぶ
- ③色柄を選ぶ
- ④部屋面積計（任意面積）を入力する
- ⑤接着剤算出条件で「自動計算」を選ぶ  
→「手入力」を選ぶ場合は15P参照
- ⑥「仕様確定」を押下
- ⑦「プラン追加」を押下
- ⑧明細エリアに部屋サイズを入力
- ⑨明細エリアの「一括選定」を押下

#### <Point>

④で入力した部屋面積計は、  
⑧で入力した部屋サイズを元に再計算されます。

### 5.オプション入力方法

オプション設定    見切り設定

接着剤算出条件    手入力 ▼

下地スペーサー    0    + -  
※数量1: 5枚入り (1枚長さ1000mm)

溶接棒    0    + -  
※数量1: 1巻 (50m)

スロープ用ブロック    0    + -

下地スペーサー・溶接棒は、接着剤条件設定を「手入力」にすることで手動で数値入力が可能となります。スロープ用ブロックは、接着剤条件設定の選定内容にかかわらず数値入力が可能となります。

### 6.長さ入力

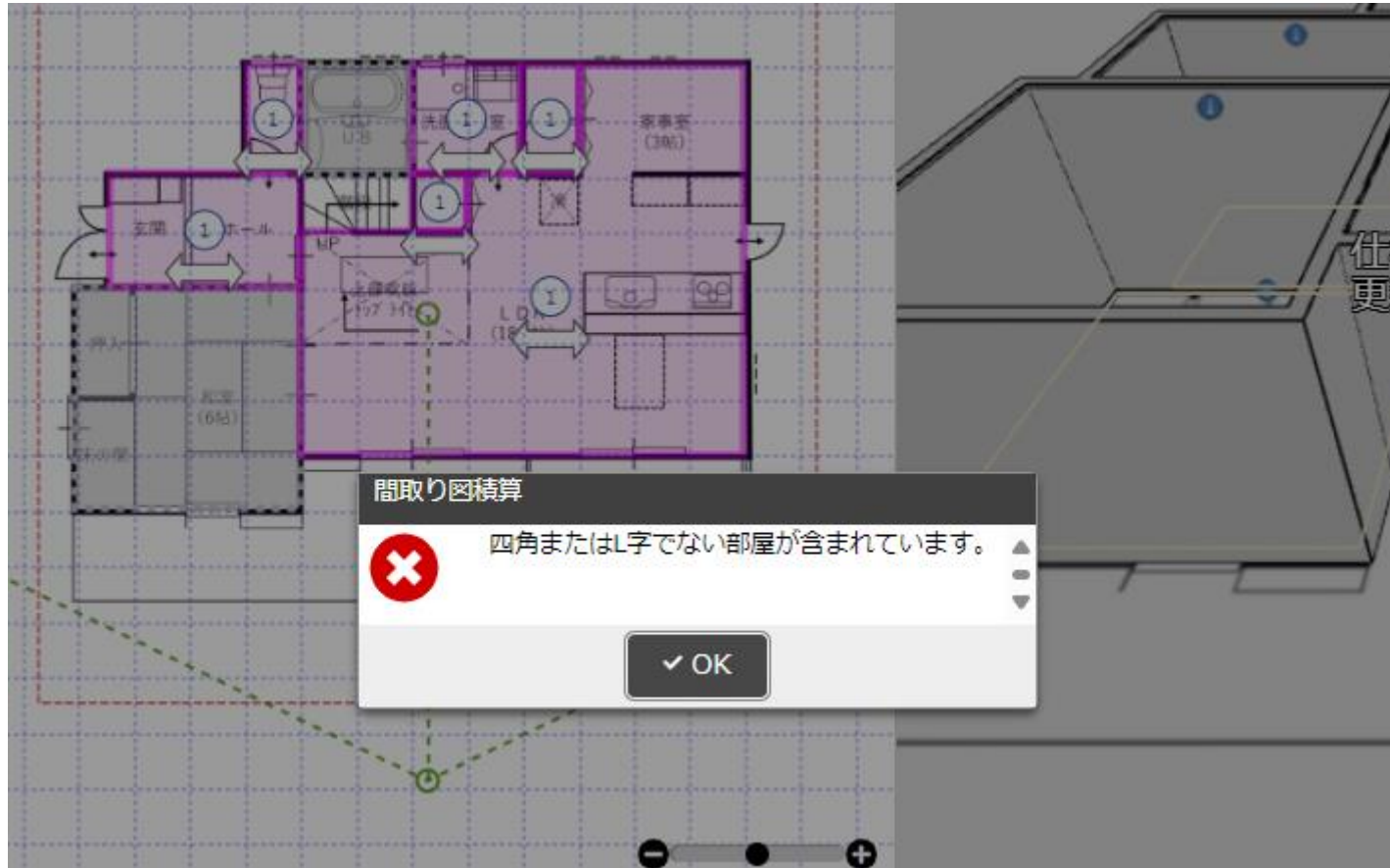
部屋作成：無		▼				部屋追加		品番参照	
2	操作	衝撃吸収フローアー クラウドステージ ブランウォールナット柄（DL）					品番未算出		
敷設面積		50 m <sup>2</sup>	15.2 坪	ケース数	0 個	商品単位	m <sup>2</sup> /ケース	備考編集	
1	操作	拾う	▼	▼		7071 mm × 7071 mm	50 m <sup>2</sup>	入力	

**部屋設定なし**の場合は、部屋長さの情報を確認の上、修正が必要です。  
初期値は部屋面積から計算した正方形の部屋として入力されます。  
数値変更後、カーソルを外すことで、面積が再計算されます。

### ③選定時の注意点

19/28

#### 1.部屋設定時の形状について



衝撃吸収床フローアーでは、部屋の長さから、  
厳密に必要な部材を算出させるため、  
四角またはL字以外の部屋が存在する場合、  
お見積りできません。

### ③選定時の注意点

20/28

## 2. センター基準・片側基準のシート割付について

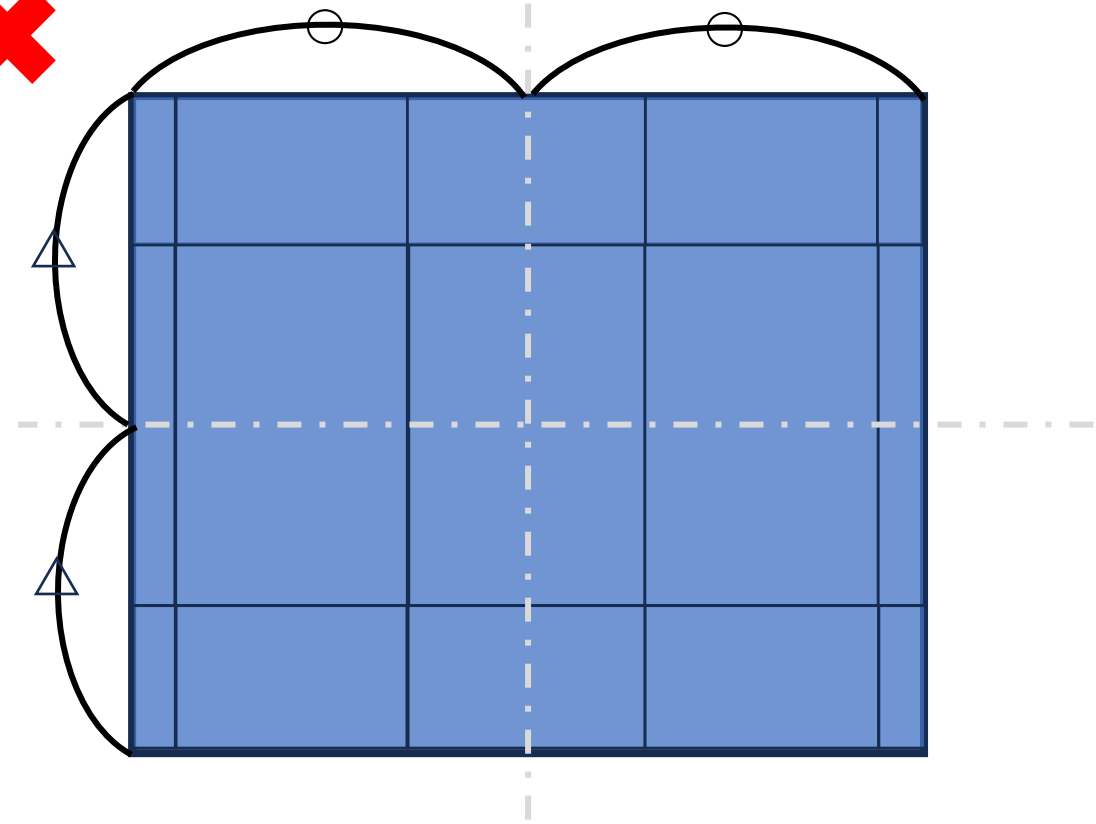
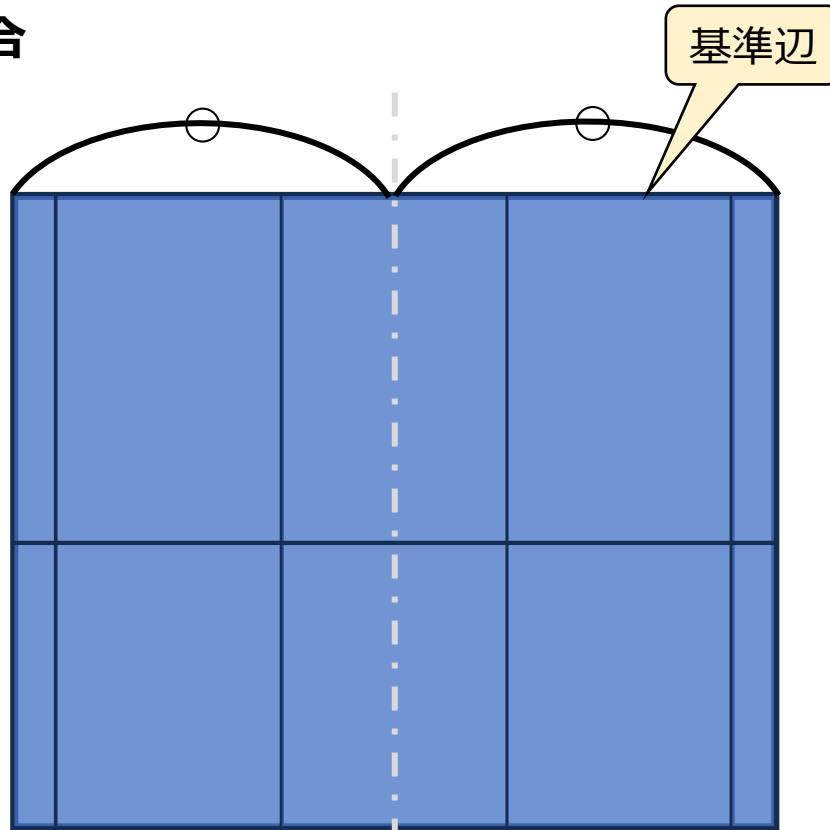
センター基準について、垂直方向の場合、  
部屋の最大矩形の上辺（基準辺）に対して2分割したセンターに割り付けします。

シート

部屋



四角形の場合



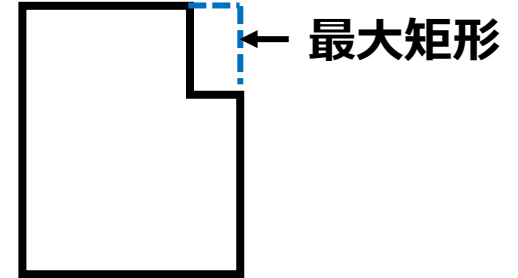
### ③選定時の注意点

21/28

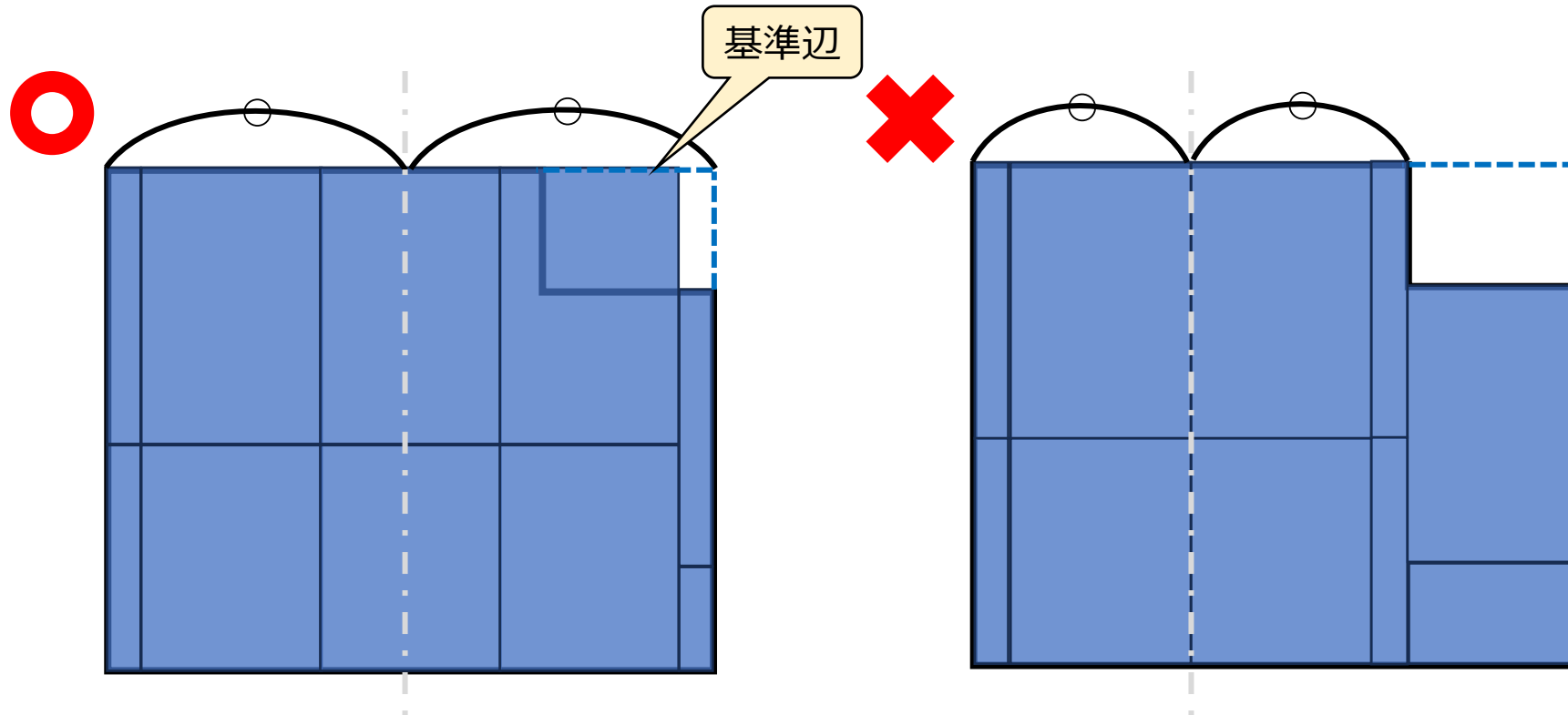
## 2. センター基準・片側基準のシート割付について

センター基準について、垂直方向の場合、  
部屋の最大矩形の上辺（基準辺）に対して2分割したセンターに割り付けします。

部屋（L字）



L字の場合（垂直）



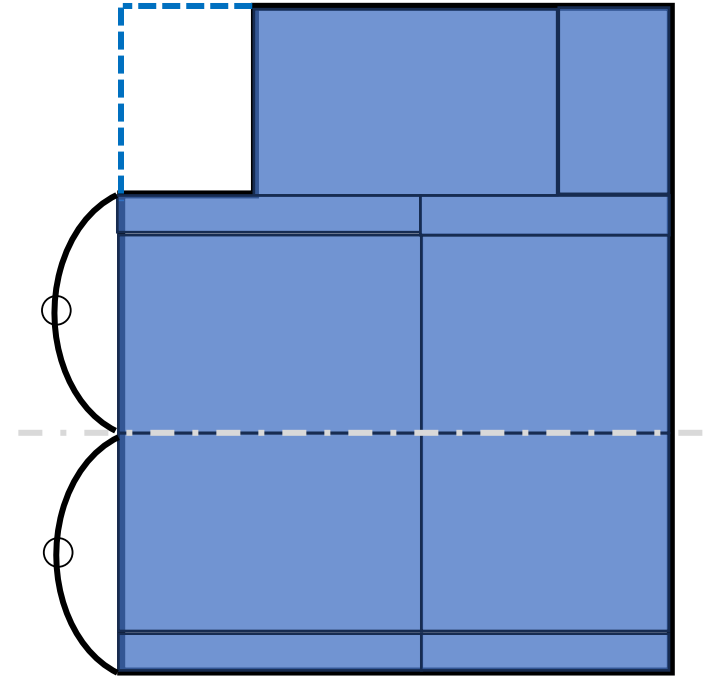
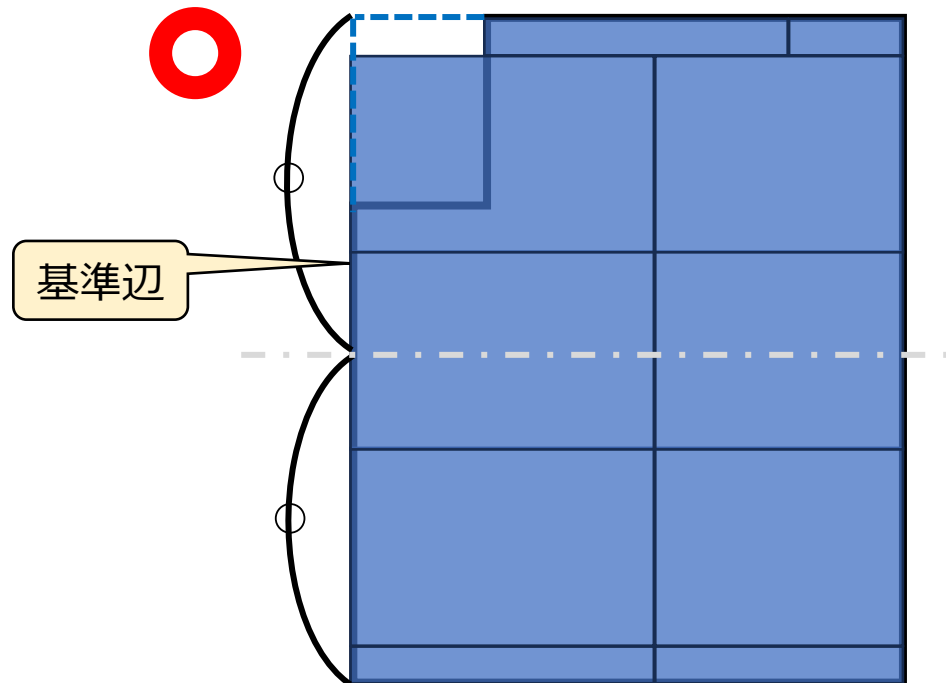
### ③選定時の注意点

22/28

## 2. センター基準・片側基準のシート割付について

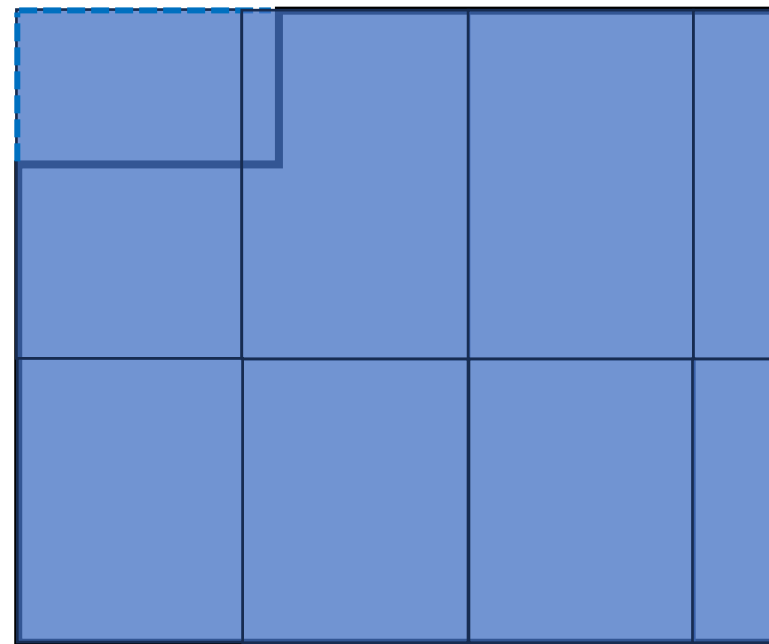
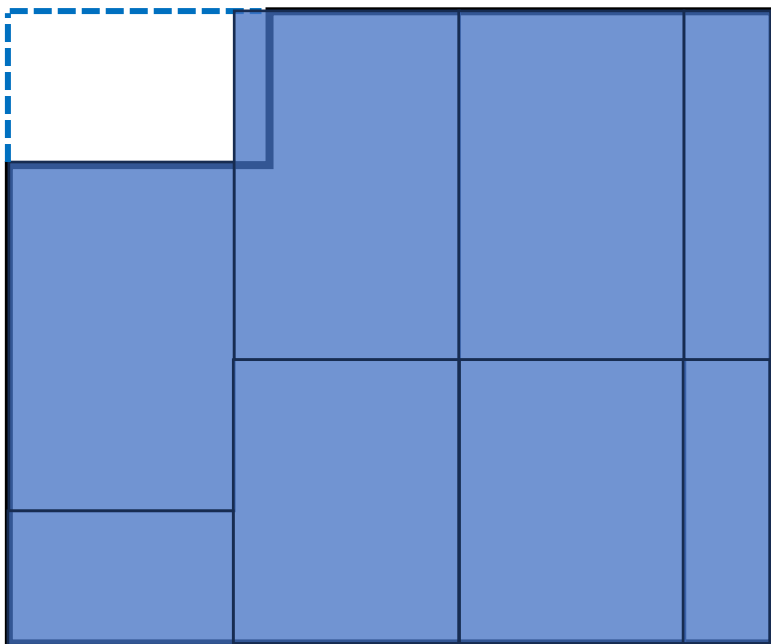
センター基準について、水平方向の場合、  
部屋の最大矩形の左辺（基準辺）に対して2分割したセンターに割り付けします。

### L字の場合（水平）



## 2. センター基準・片側基準のシート割付について

また、片側基準について、左の頂点よりシートを割り付けます。  
L字の場合、左右上辺の頂点が部屋の上部に当たる形で割付きます。

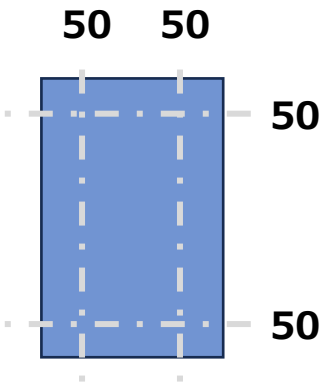


3.特殊な算出ルール：シートの算出方法について

(1)分割の考え方について

シートの分割は左右上下に計100mmの余白を確保できればシステム上再利用可能としております。

余白の考え方



シート算出例： 幅方向：合計7081mm

1755 × 8920	1775 × 8920	1775 × 8920	1775 × 8920	1 × 8920
			1775 × 8940	
			1775 × 8940	
			1775 × 8940	
			1775 × 8920	

長さ方向：合計44660mm

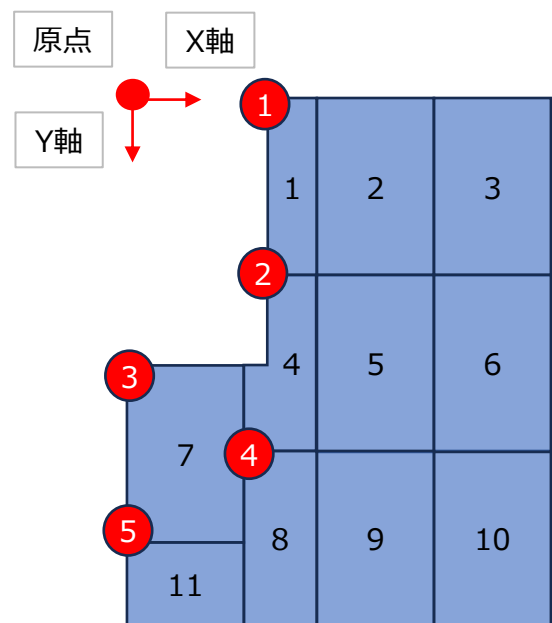
シート算出枚数：  
4 × 5 = 20シート + 1シート（5分割）  
= 21シート

## 3.特殊な算出ルール：シートの算出方法について

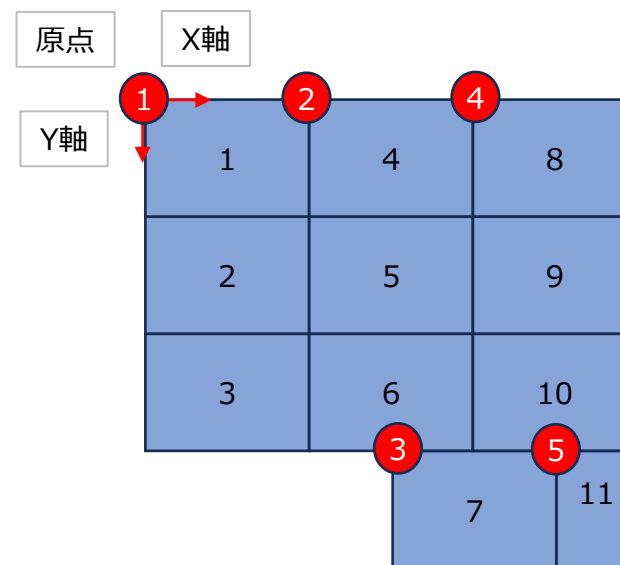
### (2)部屋形状がL字の場合のシート割付について

垂直貼りの場合、最大矩形の左上を原点とし、Y軸の左上頂点座標が最も小さいところから割り付けられます。  
また、水平貼りの場合、最大矩形の左上を原点とし、X軸の左上座標が最も小さいところから割り付けられます。

垂直貼りの場合



水平貼りの場合

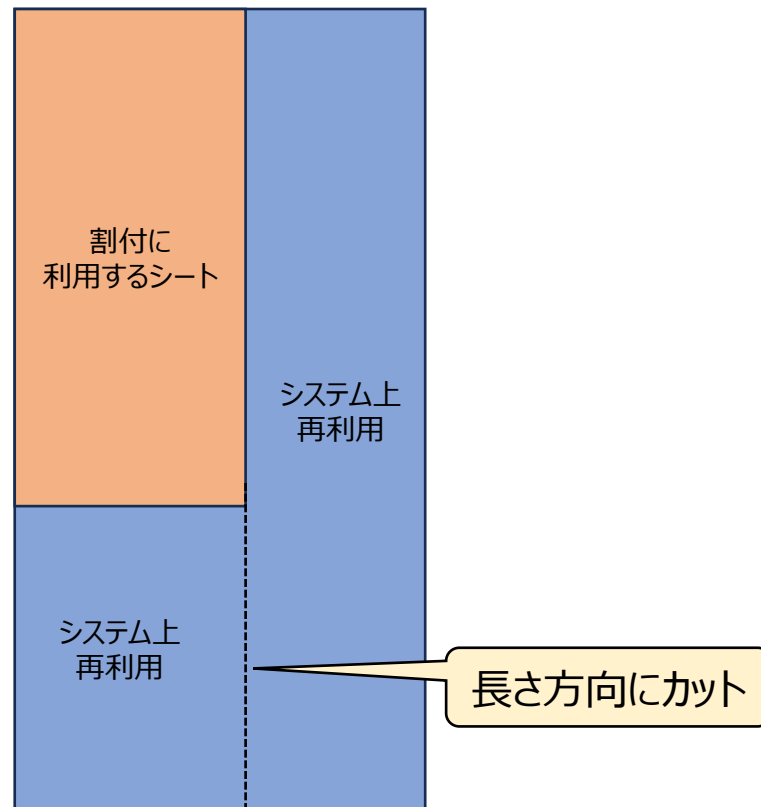


## 3.特殊な算出ルール：シートの算出方法について

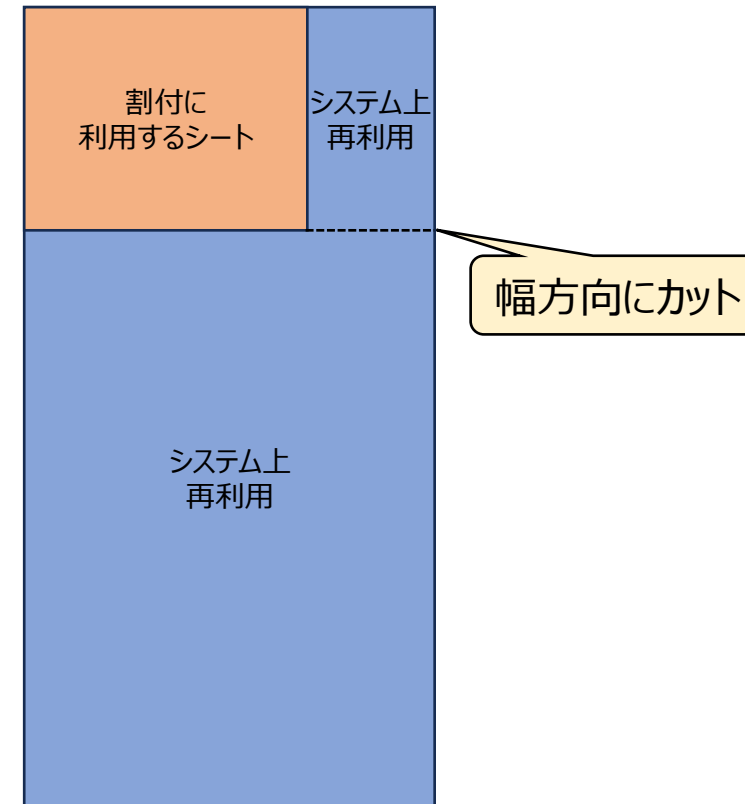
### (3)シート余りの再利用の考え方について

シートを再利用する場合、余剰の形状をL字から長方形にカットした上で再利用します。  
縦長に切り抜く場合は長さ方向・横長に切り抜く場合は幅方向にシートをカットします。

割付に利用するシートが  
縦長の場合



割付に利用するシートが  
横長の場合



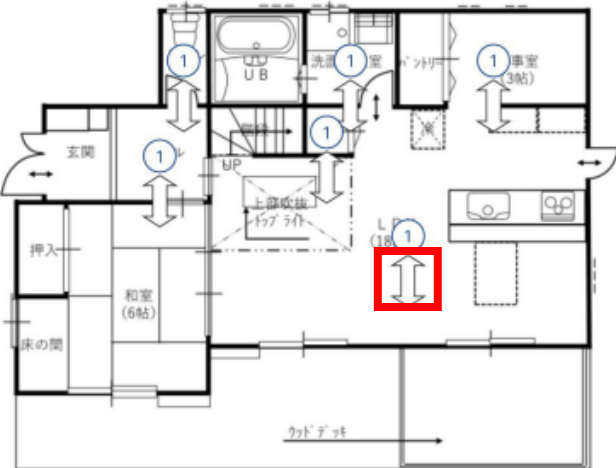
#### 4. 下限・上限値について

部屋サイズの下限值（一辺の長さ）は225mmとなります。224mm以下の部屋は見積りできません。  
また、部屋サイズの上限值（一辺の長さ）は10,000,000mm（100m）となります。  
10,000,000mm（100m）を超える部屋は作成できません。

## 5.提案ボードについてへの表現

衝撃吸収フロアーの提案ボードは下図の通り表現されます。  
変更点は下記のとおりです。

	従来床材	衝撃吸収フロアー (クラウドステージ)
タイプ	表記なし	貼り方向（垂直/水平） 貼り基準（片側・センター）
間取り図	間配り番号のみ	間配り番号＋貼り方向の矢印を表示



**木質床材**

①

品番 KGFTVS91DL  
商品 衝撃吸収フロアー クラウドステージ  
色柄 ブラウンウォールナット柄（DL）  
**タイプ 垂直貼り（片側基準）**  
表面仕様 専用塩ビシート

**木質床材**

①

品番 KGFTVS91DL  
商品 衝撃吸収フロアー クラウドステージ  
色柄 ブラウンウォールナット柄（DL）  
**タイプ 垂直貼り（片側基準）**  
表面仕様 専用塩ビシート

くらしの「ずっと」をつくる。

Green  
Housing  
Panasonic